

機能強化食品
アラ善
アラゼン

30包 お試しキャンペーンのおしらせ
期間:2024/5.10(金)~7.10(水)



期間中お申込みの方に、機能強化食品「アラ善(アラゼン)」30包(19,440円相当)をお送りいたします。当社最高位商品の実力を、この機会にぜひご体感ください。

応募資格



- ★1世帯1回限り、アラ善は未経験の方に限ります
- ★その他当社規定によりお断りする場合がございます。
- ★応募者多数の場合は抽選となります。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

📧 郵便局のスマートレターでのお届けとなります

応募方法



応募フォーム

- ① WEBで応募: 左QRコードを読み込み、専用フォームからどうぞ。
- ② ハガキで応募: 以下 **必須事項** をお書き添えの上ご応募ください。

- ・本誌の入手先(店名または氏名)
- ・郵便番号・住所・氏名・電話番号
- *記入漏れの場合は失格となります。***

宛先: 〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町4-15
マイクロアルジェコーポレーション(株) アラゼン30包お試し係

マイクロアルジェコーポレーション株式会社

〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町4-15

TEL. 058-248-1822 FAX. 058-248-1820

メール. support@mac-bio.co.jp

フリーダイヤル. **0120-48-5504**

受付: 祝祭日を除く月~金曜日9:00~17:00



公式サイト



Instagram

月刊 マイクロアルジェ Vol.370

2024年7月1日発行 発行: マイクロアルジェコーポレーション株式会社

月刊 マイクロアルジェ

News Letter

健康診断C判定 原因は糖質とりすぎ!?

マイクロアルジェ応用製品体験記
糖尿病宣告で飲み始めたサラシアアップ
今では夫婦ともども手放せません!

研究所便り

認知症予防効果があるとされる
プラズマローゲンの最新研究

わくわく! プラザ

タカシが喝!: 暑いな、やりきれないな。
ではなくて...
健康一口メモ: 麻疹(はしか)



沖縄宮古島・池間大橋

Vol.370 / 2024年7月号



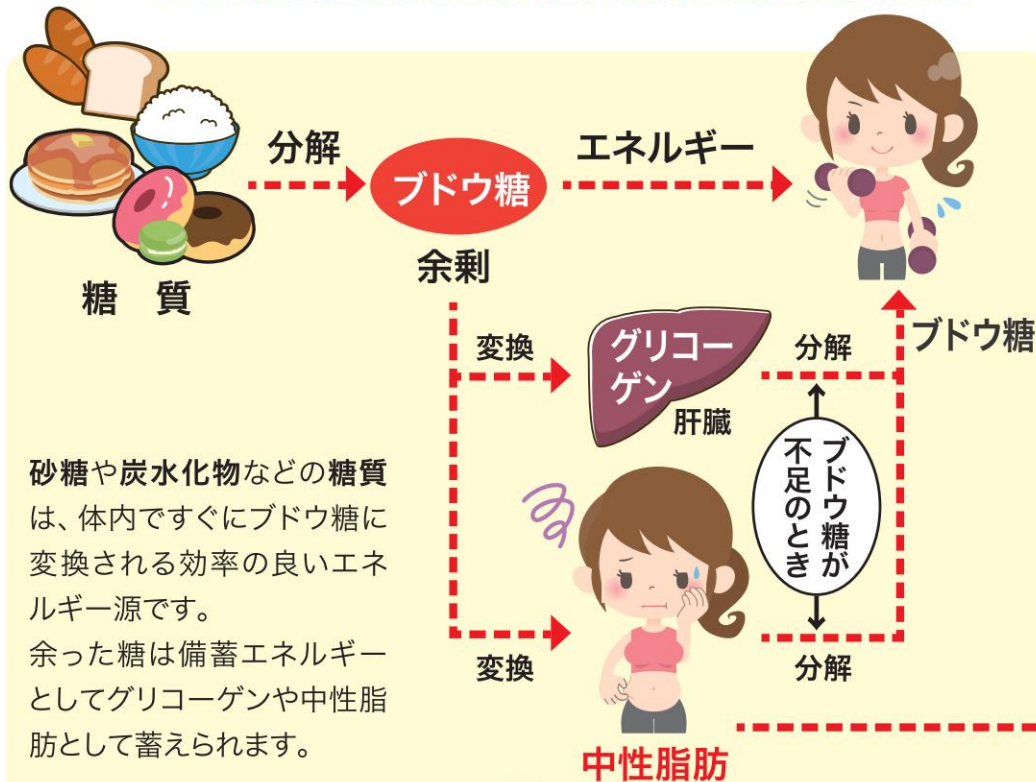
健康診断 C判定

原因は糖質とりすぎ!?

**糖分のとりすぎは身体に悪い。
わかっちゃいるけど止められない!**

健康診断で再検査を促す『C判定』が出たら、
早急に生活習慣を見直しましょう。まず考
えていただきたいのが、**糖質の摂りすぎ**です。

- ◆ 糖（糖質）は身体を動かすエネルギー源
- ◆ 余分な糖は中性脂肪として蓄えられる
- ◆ 溜めすぎると糖尿病や動脈硬化の原因となる



糖質とメタボ

蓄えられたグリコーゲンや中性脂肪は、体内のブドウ糖が足りなくなると分解され、エネルギーとして使用されます（左下図参照）。しかし溜め込まれたまま、重ねて糖質が摂取されたら？

肝臓のグリコーゲン貯蔵量には限界があるので、中性脂肪（皮下脂肪・内臓脂肪）がドンドン溜まることになります。

メタボリックシンドローム（内臓脂肪型肥満をきっかけに、脂質異常、高血糖、高血圧となる状態）へ一直線です。



糖質と生活習慣病

◆糖尿病のリスク増!

体脂肪、特に内臓脂肪が多くなると、インスリンの効き目が悪くなり、2型糖尿病を発症しやすくなります（2019.ハーバード大などによる報告）。

◆脂肪肝のリスク増!

糖質の取り過ぎにより肝臓の脂質代謝のリズムが乱れ、中性脂肪が蓄積されやすくなります（2019.名古屋大学などによる報告）。

◆動脈硬化のリスク増!

糖質の摂りすぎによる食後高血糖や中性脂肪の増加は、動脈硬化のリスクを高め、心臓病など循環器系疾患の原因となります。

放置すると
生活習慣病!!

マイクロアルジェ応用商品体験記

糖尿病宣告で飲み始めたサラシアアップ、 今では夫婦ともども手放せません！

Vol.350 (2021年12月号) 掲載体験談続報

まさかの糖尿病と診断を受けて、サラシアアップを飲み始めて約2年が経過しました。

診断時のヘモグロビンA1c^{※1}は13.3という数値でしたが、昼食と夕食の前に欠かさずサラシアアップを飲むようにしたところ（朝は医師の処方した薬を飲むので飲まない）、数値は急速に改善。10カ月ほど経過すると、ヘモグロビンA1cが6.0を切るほどになっていました。

お医者様からも、最初に処方した薬（1日1回、朝食後にトラゼンタ錠5mg、メトホルミン塩酸塩錠205mgを1錠ずつ）だと強すぎて低血糖になってしまうかもしれないから、と軽い薬（1日1回、朝食後にエクア錠50mgを1錠）に変えていただきました。

その後は、ヘモグロビンA1Cは6.0～6.5の間で比較的安定してい

ます。

医師からは「この数値で安定していれば、合併症の心配もいらないね」と言われています。

それと、妻の話ですが、お通じがあまりよくない状態で悩んでいました。お医者様より、酸化マグネシウム等を処方してもらっていましたが、なかなか改善はしませんでした。

そんな時に愛康さんの勉強会に参加する機会があり、そこでサラシアアップを飲んだらお通じが良くなった^{※2}、というお話を聞きました。

これは！と思い、妻もサラシアアップを飲み始めました。

しばらく飲み続けると、毎朝自然なお通じがあるようになってきたそうです。効き目を実感しているからか、毎日欠かさず飲んでいきます。サラシアアップさま様だね



愛知県 石川勝利さん（61歳）

と二人で話しています。

効き目があるのはもちろんですが、3錠ずつ個別に梱包されているのも、外食の多い私にはたいへん便利です。鞆や車などに予備を入れておけば、うっかり忘れた時にも安心です。

糖質コントロールだけでなく便秘にも効果があるのも助かります。極端な食事制限しなくても大丈夫ですし、日本製で安心できるのも高ポイントです。

ぜひ、これからも使い続けていきたいと思っています。

※1. ヘモグロビンA1c(HbA1c):
過去1～2カ月間の血糖コントロールの状態を示す。5.6～6.4%で要注意、6.5%以上で糖尿病が強く疑われる（国内基準）。

※2. 便秘と脳:
脳梗塞の患者が便秘になる現象が知られている。脳神経の損傷により、便意を感じる感覚や、排便をコントロールする運動神経が障害を受けるためと考えられている。それと関連があるのかもしれない。

食べる前に飲む糖活サプリ



Salacia^{up}
サラシアアップ
with ノストコプシス

3粒×50包入 税込¥8,640



プラズマローゲンは、細胞膜を形成するリン脂質の一種です。脳細胞には他の臓器よりも多くのプラズマローゲンが含まれています。

血中のプラズマローゲンは、加齢により減少します。またアルツハイマー病患者においては、脳や血清中のプラズマローゲンが、健常者より減少していることが分かっています。

現在市販されているプラズマローゲンは、ホタテやホヤ由来のDHA結合理型と、鶏ムネ肉由来のオレイン酸結合理型が主流です。今回は当社でも採用している後者に関して、以下に最新の研究データをご紹介します。

◆物忘れの自覚がある60歳以上の男女に、1日0.5mg（アップテン2粒分）、あるいは1mgの鶏ムネ肉由来プラズマローゲンを、12週にわたり摂取させたところ、未摂取群の血清プラズマローゲン濃度は試験開始時より減少したのに対し、0.5mg摂取群ではその減少が抑えられ、1mg摂取群では増加した。さらに、プラズマローゲン摂取両群の認知機能測定テストの点数は、どちらも向上した。

◆睡眠に悩みを持つ26～63歳の健常者に、1日0.5mgの鶏ムネ肉由来プラズマローゲンを2週間摂取させたところ、睡眠時間及び起床時の眠気・感覚の改善が認められた。

アップテンでよく眠れるようになったというお話も聞いております。上記はその裏付けとなるデータかもしれません。

動物実験では、同プラズマローゲンの摂取により、（記憶を司る）脳の前頭前野と海馬において、アルツハイマー病の一因とされるアミロイドβの蓄積が抑制されたとの報告があります。

そのメカニズムを調べるための細胞実験では、プラズマローゲンが、アミロイドβの蓄積に関わる酵素の発現を抑制することが分りました。

またアルツハイマー病では、タウとよばれるタンパク質の異常な蓄積や過剰なリン酸化が見られますが、同プラズマローゲンがタウ・タンパク質の発現を抑えていることも分りました。

アップテンの主成分の一つ、クロロゴニウムについても、現在大学との共同研究が進行中です。結果が出るまでまだ時間がかかると思いますが、今しばらくお待ちください。

タカシが喝！



一個人の放言にて過言・戯言はご容赦のほどを…
**暑いな、やりきれないな。
ではなくて…**

いよいよ気候が“夏”になってきた。思わずつぶやく。「暑いな、やりきれないな」。しかしこれには喝！だ。思想家・中村天風氏によれば、そういう時は「暑いな、夏は暑い方がよいな」と言葉を転換するのだ。大リーグの大谷翔平選手も高校時代、氏の書籍に学んだという。だから今があるのだろう。小生も読んだはずだが、どれだけ身に付いているものか…年齢や立場に関係なく、良いところはどんどん真似て行きたいものだ。

健康管理士上級指導員・生涯健康相談士・サプリメント管理士マスター 中西隆



インフル、コロナを
はるかにしのぐ感染力 **ましん 麻疹(はしか)**

新型コロナの大流行により、麻疹ワクチンの接種率が大幅に低下。そのため世界中で感染が拡大しています。

- ◆**感染力が非常に強い**（空気感染、飛沫感染、接触感染）。
- ◆免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ**100%発症**する。
- ◆有効な予防方法は**ワクチンのみ**（2回の摂取が必要）。
1～2歳に1回目、5～7歳に2回目を接種する定期接種制度がある。
- ◆ワクチン接種状況の違いにより、**感染リスクの高い世代**が存在する。

↓
50歳代以上…公的な定期接種が始まっておらず、ワクチンを一度も接種していない可能性がある。

20～30歳代…制度の転換期で定期接種が1回のみとなり、免疫が不十分な可能性がある。

0～4歳代…最も重症化しやすい年代。

